

神の属性

「私はあなたの御霊から離れて、どこへ行けましょう。私はあなたの御前を離れて、どこへのがれましょう。たとい、私が天に上っても、そこにあなたはおられ、私がよみに床を設けても、そこにあなたはおられます。」(詩篇139:7-8)

聖書は神が存在しておられることを証明しようとしていない。むしろ神が存在されることを前提として、神の持つておられる数々の属性や特性を描いている。その属性の多くは神に特有のものでほかのものにはないものである。けれどもある特性は神のかたちに創造された人間の中にも見ることができる。

神独特の属性

(1) 神は遍在である。これは神が同時にあらゆる所に存在されるという意味である。詩篇の作者は私たちがどこへ行っても、そこに神はおられると言っている(詩139:7-12, ⇒エレ23:23-24, 使17:27-28)。これは私たちが行くことを神はみな見て知っておられるということでもある。

(2) 神は全知である。これは神が何でも知っておられるという意味である(詩139:1-6, 147:5)。神はあらゆることを完全に知っておられる。私たちの行動だけではなく私たちの思いも知っておられる(1サム16:7, 1列8:39, 詩44:21, エレ17:9-10)。聖書は神の予知について書いているけれども(イザ42:9, 使2:23, 1ペテ1:2)、それはあらゆる状況で起こる可能性のあることを全部、つまり起こる可能性のあること、そして実際に起こることを神が知っておられるということである。神は過去に起きたことを全部知っておられ、未来に起こることも全部知っておられる。神が定められ(未来に起きるように計画された)、預言されたことはみな既に成就したか、あるいは確実に未来に成就する(⇒1サム23:10-13, エレ38:17-20)。これは学者たちが言う「哲学的決定論」(人間の選択や行動も未来に起こることも神がみなそうなるようにされるという考え)ではない。神は人間に自由意志を与えて自分で決断できるようにされた。それは人間が自分の選択とその選択の結果に責任を持たなければならないということである。けれども神が何でも知っておられるということとはご自分の予知に縛られることではない。神はご自分でしようとしておられること、最善であると知っておられることに従って、時間と歴史の中で目的を変更する自由を持っておられる(⇒民14:11-20, 11列20:1-7, →「選びと予定」の項 p.2215)。

(3) 神は全能である。これは神があらゆる力を持っておられ、すべてのものとすべての被造物に対して最高の権威を持っておられるという意味である(詩147:13-18, エレ32:17, マタ19:26, ルカ1:37)。具体的に言えば神は何でもすることができる、できないことは何もない。けれどもこのことは、神がその力と権威をいつも用いられるということではない。たとえば、神は罪を全部滅ぼす力を持っておられる(それは人間の不完全性を取除くことになる)けれども、歴史の終末まではそうしないと決められた(⇒1ヨハ5:19)。そう決めることによって人間が持つ選択の自由を守られた。したがって人間は望むなら正しい道を拒んで滅びへ向かう道を選ぶこともできる。多くの場合、神は忠実な人々が祈って神に頼るときにだけ働くというかたちで、ご自分の力を制限しておられる(11コリ12:7-10)。この場合、神の力はひとりひとりがどれほど神に従い用いられようとしているかに応じて、発揮されるのである(⇒エペ3:20注, →「神の摂理」の項 p.110)。

(4) 神は超越している。これは神が被造物とは違って独立しておられるという意味である(⇒出24:9-18, イザ6:1-3, 40:12-26, 55:8-9)。神の実在と存在の実体(核、最も基本的な構造)と性質は神が創造された何よりも大きく高いものである(1列8:27, イザ66:1-2, 使17:24-25)。神ご自身は造られた存在ではなく被造物とは別の存在である(⇒1テモ6:16注)。けれども超越していることは神が人々の間に住んで個人的に交わりができないということではない(レビ26:11-12, エゼ37:27, 43:7, 11コリ6:16)。

(5) 神は永遠である。これは神には初めも終りもないという意味である(詩90:1-2, 102:12, イザ57:15)。過去にも未来にも神が存在しない時はない。神は人間の時間によって縛られることがない(⇒詩90:4, Ⅱペテ3:8)。だから神はご自分を「わたしはある」という者(⇒出3:14, ヨハ8:58)と言われるのである。それは継続的に無限(終りが無い)で永遠の存在であることを表している。

(6) 神は不変である。これは神の属性、神の完全性、人類に対する神の目的に変化はないという意味である(民23:19, 詩102:26-28, イザ41:4, マラ3:6, ヘブ1:11-12, ヤコ1:17)。けれどもこれは人間の行動にตอบสนองして神がその暫定的な目的を変更することがないという意味ではない。つまり神は私たちに選択をさせその選択を通して、またそれとのかかわりの中で、神の完全な計画を進められる。たとえばもし神に背いた人々が悔い改めて罪を認め、勝手な道から立返り、神とその目的に従うなら、神はその人々へのさばきのご計画を変更されるかもしれない(⇒ヨナ3:6-10)。また神は人々の必要と祈りにご自分の方法で、ご自分の時にตอบสนองされる。聖書はしばしば義人の熱心な祈りの結果として、神がその思いを変えてご計画の変更をされたことを書いている(民14:1-20, Ⅱ列20:2-6, イザ38:2-6, ルカ18:1-8, →「選びと予定」の項 p.2215, 「効果的な祈り」の項 p.585)。ある場合には、人々が行っていることを変えないなら神は何を行われるかを宣言される。それに対して人々が前向きにตอบสนองするなら、神は宣言しておられたことを変更される。またある場合には、神はある時点で何かを行おうとしておられるけれども、忠実な人々が祈り、用いられるように自分をささげるまで行動するのを待たれるのである。

(7) 神は完全で聖い方である。これは神が純粹で完全な特性を持っておられ、全く罪がなく、思うことを行うことがみな全く正しいという意味である(レビ11:44-45, 詩85:13, 145:17, マタ5:48)。またあらゆる悪から離れておられるという意味である。アダムとエバは罪のないものとして創造された(⇒創1:31)。けれども自由意志(神の完全な創造の働きの一部で、神を愛し従うかを自分で選ばせること)があったので罪を犯すことができた。一方で神は罪を犯すことができない(民23:19, Ⅱテモ2:13, テト1:2, ヘブ6:18)。神の聖さの中には、神が目的とご計画を実現するためにご自分を完全にささげることが含まれている。それはいつも人間にとって最高の益をもたらすためである。

(8) 神は三位一体である。これは神が一人の神、単一の存在であって(申6:4, イザ45:21, Ⅰコリ8:5-6, エペ4:6, Ⅰテモ2:5)、父と子と聖霊(マタ28:19, Ⅱコリ13:13, Ⅰペテ1:2)という三つの別個の(分離していない)、けれども互いに関係のある完全に統一された人格の中にご自分を現されたという意味である。それぞれの位格は完全な神であり、ほかの位格と平等である。けれども三人の神ではなく、一人の神である(⇒マタ3:17注, マコ1:11注)。神についてのこの考えは、「一人の方の中の三人、本質において一つ」と描かれてきた。これを単に一人の神がご自分を歴史の中で時代ごとに三つの様式や表示の仕方(旧約聖書では御父、新約聖書では主イエス、現在は聖霊のように)現されたことと誤解しないようにしなければならない。過去にはこのような間違った教えが教会を分裂させてきた。神の三位が同時に存在しているというのが正しい教えである(⇒マタ3:16-17, ルカ3:21-22, 三人がそれぞれ的人格を持って現れて同時に働いておられる)。一人であるけれども三つの別個の互いに関係のある統一された人格という考えは、神学用語で「三位一体」と言われる。この三位一体という考えに相当するもの、同じようなものは人間世界にはないけれども、完全に聖書的であって、神の多面の複雑な性格を正しく理解する上でなくてはならないものである。

神の道徳的属性

一人のまことの神が持つておられる多くの特性、特にその道徳的属性は人間の特性と似ている。けれども神が持つておられる特性は人間のものとは比較にならない程大きい。たとえば神も人間も愛する能力を持つておられるけれども、人間には神が愛する程に深く愛することができない。さらにこれらの特性を実行する人間の能力は、神に似せて創造されたからあるということを感じておかなければならない(創1:26-27, →「天地創造」の項 p.29, 「人間性」の項 p.1100)。つまり私たちは神に似ているのであって、神が私たちに似ているのではない。

(1) 神は善である(詩25:8, 106:1, マコ10:18)。神が最初に創造されたものはみな良かった。けれども

それは神ご自身の性質の拡大だったからである(創1:4, 10, 12, 18, 21, 25, 31)。神は造られたもの、被造物のために今も配慮し必要を備えてくださる良い方である(詩104:10-28, 145:9, →「神の摂理」の項 p.110)。神を敬わない人々(神を無視し、挑み、拒む人)にも神は必要を備えてくださる(マタ5:45, 使14:17)。けれども心から神に頼る人々に対しては、特に良い方である(詩145:18-20)。

□(2) 神は愛である(Ⅰヨハ4:8)。神の愛は罪深い人々の世界を全部抱きしめる完全に無欲の愛である(ヨハ3:16, ロマ5:8)。この愛の最高の表現は、神がそのひとり子イエスを送って人間の罪のために死なせ、神への反抗に対する刑罰を帳消しにして(Ⅰヨハ4:9-10)、神との壊れた関係を修復されたことである。その上に神は主イエスの犠牲を受入れて罪を赦され、神との正しい関係を回復した人に対して特別な家族愛を持っておられる(→ヨハ16:27注)。

□(3) 神はあわれみ深く慈しみ深い(出34:6, 申4:31, Ⅱ歴30:9, 詩103:8, 145:8, ヨエ2:13)。恵みとは私たちが受けるにふさわしくない救いの祝福を神が与えてくださること、とすることができる。あわれみの定義は、罪にふさわしい刑罰から救ってくださることとされている。神に対する私たちの反抗は滅びに相当するけれども、神は私たちを退けて滅ぼすことをされない(詩103:10)。逆に、イエス・キリストを信じる信仰を通して自由な賜物として罪の赦しを提供してくださる(詩103:11-12, ロマ6:23, Ⅰコリ1:3-4, エペ2:8-9, テト2:11, 3:4-5, 「信仰と恵み」の項 p.2062)。

□(4) 神は情け深い(Ⅱ列13:23, 詩86:15, 111:4)。情け深いということは、だれかの苦しみを悲しみ、その人を助けたいと思って努力することを意味する。情け深さには行動が必要である。人類に対する情け深さから、神は御子イエス・キリストのいのち、死、復活を通してただ一つの赦しと救いの道を提供された(→詩78:38)。同じように主イエスは群衆に情け深さを示して、貧しい人々に福音を宣べ伝え、傷ついた人々を癒し、捕われた人々に自由を宣言し、盲人の目を開き、霊的に打ちひしがれている人々を解放された(ルカ4:18, →マタ9:36, 14:14, 15:32, 20:34, マコ1:41, →マコ6:34注)。

□(5) 神は忍耐強く怒るのに遅い(出34:6, 民14:18, ロマ2:4, Ⅰテモ1:16)。アダムとエバがエデンの園で善悪を知る木の実を取って食べてはならないという神の命令に背いたときに、神はこの特性を最初に示された。神は人類を滅ぼす権利を持っておられたけれどもそうされなかった(→創2:16-17)。逆に、神は既に計画しておられた人類との関係を回復するご計画を前進させられた(Ⅰペテ1:20, 黙13:8)。ノアの家族以外の人々が神に全く逆らって生きていたとき、そしてノアが箱舟を建造していた時代にも神は忍耐しておられた(Ⅰペテ3:20)。そして神は今も罪深い人類に対して忍耐をしておられる。神が現在世界をさばかないでおられるのは、人々が悔い改めて(自分の罪深い道から立返って神に人生をささげること)救われる機会を忍耐強く提供しておられるからである(Ⅱペテ3:9)。

□(6) 神は真理である(申32:4, 詩31:5, イザ65:16, ヨハ3:33)。主イエスはご自分を「真理」と呼ばれた(ヨハ14:6)。聖霊は「真理の御霊」と言われている(ヨハ14:17, →Ⅰヨハ5:6)。神の言われること、行われることはみな全く信頼できる真実なものだから、そのみことばも真理として描かれている(Ⅱサム7:28, 詩119:43, イザ45:19, ヨハ17:17)。みことばは物事の本当の姿を表し、物事の正しい方法を示す。そこで聖書は神がどんな種類のうそや不誠実や偽りも容認されないと教えている(民23:19, テト1:2, ヘブ6:18)。神の特性こそがあらゆる真実であり正しいことの土台である。神以外に「真理」はない。神が正しいとされたもの以外に「正しい道」はない。実際問題として父である神に至る道は「道であり、真理であり、いのち」(ヨハ14:6)である御子イエスよりほかにない。

□(7) 神は誠実である(出34:6, 申7:9, イザ49:7, 哀3:23, ヘブ10:23)。私たちは神に完全に頼ることができる。神は、みことばの中に啓示されたことは約束も警告も全部行われる(民14:32-35, Ⅱサム7:28, ヨブ34:12, 使13:23, 32-33, →Ⅱテモ2:13注)。神は人々を裏切ることもご自分の特性を裏切ることもされない。神の誠実は頼る人には驚くべき慰めを与える。けれども主イエスを罪を赦される方、人生を導かれる方として受入れない人々にはさばきに対する恐れがやってくる(ヘブ6:4-8, 10:26-31)。

□(8) 神は正しい(申32:4, Ⅰヨハ1:9)。これは神が宇宙の道徳的秩序を安定させ、人類を完全に正しく取扱っておられることを意味している(ネヘ9:33, ダニ9:14)。神は完全に正しい方だから罪から目をそらし

